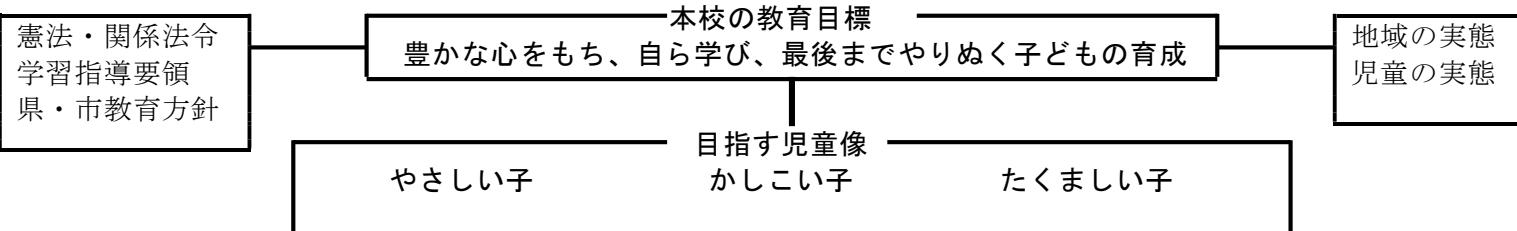


## 教育課程の全体計画



	確かな学力	豊かな心	健康・体力	信頼される学校
項目	① 分かる・できる授業の工夫と充実 ② 音読・計算活動を通して脳の活性化 ③ 家庭学習を通しての反復学習の充実 ④ 音読や読書の充実	① あいさつや返事の習慣化 ② 後始末の徹底 ③ 正しい廊下歩行 ④ 望ましい人間関係の醸成（あったか言葉）	① メディアコントロールを中心とした基本的生活習慣の定着 ② 健康な体づくりと体力の向上 ③ 望ましい食習慣の形成	① 保護者と連携した取組 ② 土曜授業の充実と地域教育力の活用 ③ メールシステムを活用したこまめな保護者への連絡 ④ 学校ホームページ更新や通信発行等による情報発信
達成基準	① 国語・算数ワークテストの平均正答率80%以上 ② CRT学力検査正答率で全国平均を5ポイント上回る。 ③ 読書量、各学年部の目標冊数をクリアする。	① 各項目とも意識調査(挙手等)で、5段階の4・5が全体の85%になることを目標とする。 ②③④についても同様	① メディアコントロールのアンケートで睡眠時間8時間以上の児童80%以上を目指す。 ② 体力テストの課題種目以外(30種目)において、男子は18項目、女子は20項目県平均を上回ることを目指す。 ③ 「チャレンジ!食の日」で、85%以上の参加を目指す。	① 学校評価アンケートで4段階評価の3以上を目指す。 ② 授業参観・懇談率平均75%以上を目指す。 ③ 行事ごとの学校ホームページの更新
具体的な実践方策	① チャイム黙想、立腰指導の徹底 ② 子どもが読みたくなるような読書指導の充実 ③ 家庭学習の取り組ませ方の工夫 ④ 積極的な作品応募	① 廊下歩行の集団練習(朝の活動の時間) • 1学期…右側歩行の徹底 • 2学期…無言歩行の徹底 • 3学期…会釈の徹底 ② あったか言葉の標語づくりとその掲示	① 学期ごとにメディアコントロールに取り組み、就寝・起床時間を定着させる。 ② 規範意識の高揚 ③ 保健調査や残菜調査の活用と外遊びの推進	① 学校便り等での学校経営計画の周知と徹底と情報公開 ② 地域の教育力を生かした教育活動の計画 ③

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動	その他の活動
日常生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、社会の発展に寄与できる能力を身に付けさせる。	人間尊重の精神を具体的な生活の中に生かし個性的・社会的・平和的な日本人を育成するための基盤となる道徳性を養う。	望ましい集団行動を通じて、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長するとともに集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる。	自らの課題を大切にし、問題解決的な学び方やものの考え方を身に付け、様々な探究活動に主体的かつ創造的に取り組む資質や能力、態度を育てる。	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養う。	教師と子ども、子ども同士の人間的なふれあいを基盤とし子ども達の自主的な活動を通じて、より豊かな生活を求める態度を育てる。

努力点	努力点	努力点	努力点	努力点
○習得すべき基礎的・基本的な知識能力を定着させる。 ○自発的で意欲的な学習態度を育てる。 ○発表訓練を徹底し正しくわかりやすく発表する力を伸ばす。 ○よりよい学習をするための学習規律を確立する ○ノートを工夫してまとめようとする態度を育てる。 ○自分の考えを積極的に発表しようとする態度を伸ばす。	○みだりに人に動かされない強い意志と態度を育てる。 ○常に自分の言動を振り返り節度のある生活をしようとする態度を育てる。 ○困難や失敗にくじけず、最後までやりぬく態度を育てる。 ○希望をもち、目標を立ててその実現に努めようとする態度を育てる。	○自分の役割を自覚し、進んで務めを果たす実践的な態度を育てる。 ○基本的生活習慣を守り、それを維持する態度を育てる。 ○お互いに助け合い協力し合って楽しい学校生活を築く態度を育てる。 ○公共物を大切にし物を大事に扱う態度を育てる ○人の意見をよく聞き、学級生活をよりよくするための発表ができるようにする	○自らの課題の解決に向けて、創意工夫のある問題解決的な学習の進め方を身に付けさせる。 ○課題解決に向けて主体的に判断しよりよく解決しようとする態度を育てる。 ○集団との関わりの中で、様々な考え方やもののとらえ方があることを理解する態度を育てる。 ○学習したことを発信的に表現しようとする態度を育てる。	○児童に身近で基本的な表現を使いながら、外国語に慣れ親しむ活動や児童の日常生活や学校生活に関わる活動を中心に、友達とのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を行う。 ○友達とのかかわりを大切にしながら、児童の日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行う。